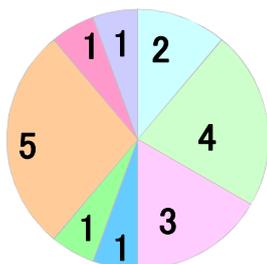


H24年度 第1回企業研究所視察(道内) アンケート/グラフ

[1]回答者数:研究者18名

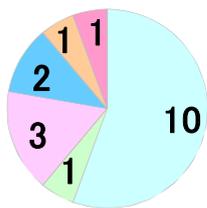
所属	人数
理学院・理学研究院	2
生命科学院・先端生命科学研究院	4
農学院・農学研究院	0
工学院・工学研究院	3
環境科学院・地球環境科学研究院	1
情報科学研究科	1
総合化学院	5
その他	1
未回答	1
計	18

所属

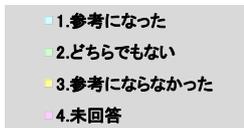
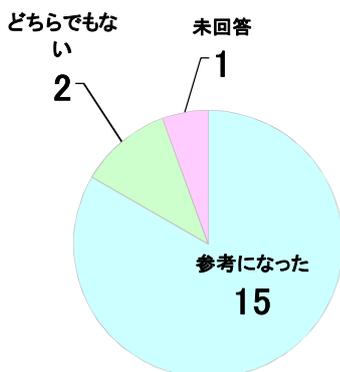


学年	人数
MC	11
DC	5
PD	1
その他	1
未回答	0
計	18

学年

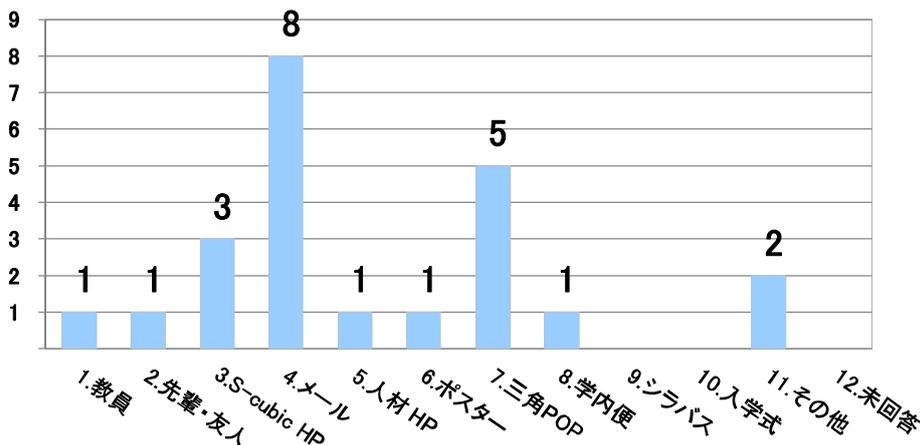


[2] 第1回企業研究所視察は参考になりましたか？



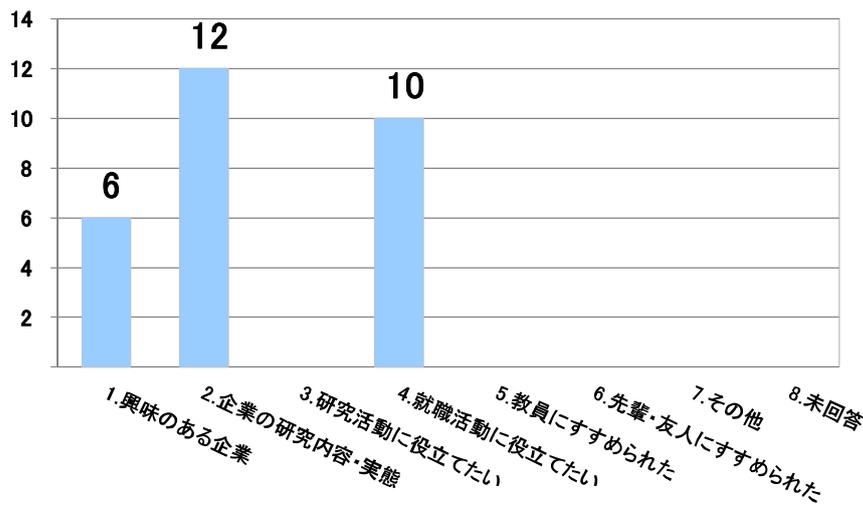
[3] 第1回企業研究所視察の開催について、どのように知りましたか？(複数回答可)

- 1.教員の紹介 2.先輩・友人の紹介 3.S-cubic HP 4.S-cubicの案内メール 5.人材育成本部 HP 6.研究所・学内の展示ポスター
7.食堂の三角POP 8.学内便による案内 9.今年度のシラバス 10.大学院入学のオリエンテーション
11.その他(具体的に) 12.未回答



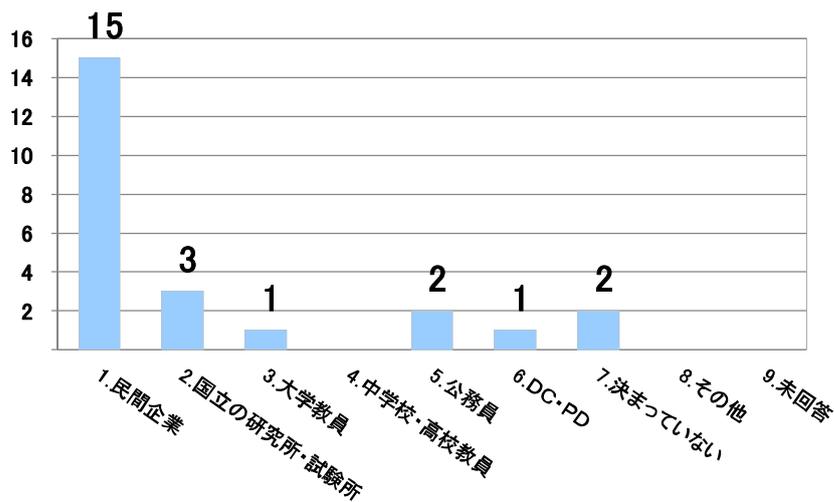
[4] 第1回企業研究所視察への参加理由(複数回答可)

- 1.興味のある企業の視察だから 2.企業の研究内容・実態を知りたいから 3.自分の研究活動に役立てたいから
4.就職活動に役立てたいから 5.教員にすすめられたから 6.先輩・友人にすすめられたから 7.その他(具体的に) 8.未回答



[5] あなたは、今後の自分のキャリアパスをどのように考えていますか?(複数回答可)

- 1.民間企業に就職したい 2.国立の研究所・試験所に就職したい 3.大学教員になりたい 4.中学校・高校教員になりたい
5.公務員になりたい 6.DC・PDに進学したい 7.決まっていない・分からない 8.その他(具体的に) 9.未回答



H24年度 第1回企業研究所視察(道内) アンケート／その他の回答・自由記入欄

[2-1]参考になった方：どの点が参考になりましたか？（具体的に）	
1	自分の研究と大変関わりの深い製造プロセスで実際に操業している様子を見学でき、勉強になりましたし、モチベーションが上がりました。
2	企業の方の声を直接聞くことができた。企業活動を見て肌で感じる事ができた。
3	自分の専攻に一致している住友金属鉱山が行っている事業の1つを見ることができた点。
4	他分野の工場を見ることができた所。
5	住友国富電子で単結晶の育成から加工までを見学できて、より将来のビジョン（実際に働くこと）について考えることができるようになったと思います。
6	企業の行っている取り組みについて知れた。住友国富電子では、工場でウェハをつくる機械がとても精密だった。安全性を第一に重視していたこと。
7	大企業だけでなく、中小企業の見学もできたこと。
8	各企業の事業への取り組み方が理解出来ました。（企業風土、企業理念等）銅産業からウェハ生産への切り替えた事業所と1930年代から基本的な作りを継続している事業所との比類（違い）が感じられて興味深かったです。
9	住友国富電子の方での材料作成、特に結晶成長という点は我々の研究室でも行っており、自分が研究室で学んでいる技術を実際の現場でも活かすことが出来そうということを知ることができました。
10	”ものづくり”がしたいと思っていたが、自分の思い描いていたものとは違った。これを機会に自分のやりたい”ものづくり”がどのようなものかを考え直したい。
11	日本を支えているのは中小企業であると確信した。
12	住友国富電子を知れたこと。完全な異分野をこれだけ深いところまで知れる経験は自力では難しい。
13	ものづくりの現場を直に感じる事ができた所は、とてもよかったと思う。
14	専門分野以外の企業の様子を知ることができて良かったです。特に、加工・製造の現場を見れた事は、良い経験になりました。また、企業がどのように北海道に貢献しているかを知れて、参考になりました。
15	実際の製造工程を見学させていただき、その都度、質問・疑問にお答えいただくことができ、企業の操業について学ぶことができました。
16	製造の課程を順番に見ることができ、将来、生産の仕事についての場合のイメージをつくる参考になった。

[2-2]参考にならなかった方：どのようなことを期待されておりましたか？（具体的に）	
1	ニッカの見学に関しては、今回の機会が特例というわけではなかったため、住友金属鉱山の様に普段行けない企業をもっと見学したいと思いました。
2	研究というより製造のカラーが強かったと感じました。片方はガチガチの研究でも良いかと思った。

[3]第1回企業研究所視察の開催について、どのように知りましたか？／その他の回答	
1	他のS-cubicの講義で（Advanced COSA(1)）
2	研究室に案内がきました。

[6]今後、企業研究所視察で、視察したい企業の分野（企業/業種）を教えてください。	
1	材料（金属、非鉄、鉄鋼）、自動車
2	実験動物を使う研究分野
3	経済、投資にも関わるような業務を行っている企業。理系の企業では土木関係。
4	化学系
5	化学プラント系、非鉄。
6	総合化学メーカー、自動車業界。
7	地場産業（食品メーカー）の視察を希望します。

8	今回のような実際の製品を作る上で必要な材料開発、製作ということを行っている企業は博士課程まで進んだ知識や経験を活用することが出来そうな企業でした。博士まで進んだ自分としては、そのような基礎となる部分を行っている企業を視察したいと強く感じました。
9	ものづくり
10	食品系の工場全般、地域の漁業・農業、インフラ。
11	知名度が低いがすごい技術や商品のある企業。
12	化学、製薬。
13	食品や電力などの北海道の生活に密接している会社
14	ベンチャー系とか、創業数年の企業見学など、個々人の実力がより問われる企業は、研究者と相性がいいと思い、視察の対象にしてはどうかと思いました。
15	道内の製造業（可能であればドクター採用を行っている企業）、食品会社。
16	生物系の人材を求める企業。
17	化学系

[7] 第1回企業研究所視察について、またはS-cubicへのご意見・ご要望など（自由にご記入ください）	
1	住鋳国富電子の見学時間がもう少し長ければよかったかと思いました。
2	とても楽しめた。機会があればまた参加し、知識を深めたい。
3	大変有意義に視察させていただきました。ありがとうございました。
4	2社ではなく、1社をじっくりでもいいのではないかと思います。
5	研究職の働き方がより理解出来る視察であれば尚、興味深いものになると思います。
6	企業を知るという点で、非常に有用な体験でした。また機会があれば参加したいです。
7	就活にからめた質問をすればよかった。
8	こういう企画はどんどん行って欲しいです。頭で考えるのと実際に見るのとでは全く違う。私も今日の視察で企業の見方が変わりました。1日ばかりでお金もかかるし大変だと思いますが、是非お願いします。
9	専門外の企業の方がおもしろいと思いました。
10	R&Dの現場が見えなかった事は残念だった。北海道内にも最先端の研究所（工場）がある事は少しびっくりした。
11	この企画自体は、参加してとても楽しめるものでした。いわば大人の社会科見学といった趣きで。ただ、楽しめる以上の価値が、見出せませんでした。また、ふと感じたことは、文系出身のPDには、就活支援もなければ、受け入れ企業もほとんどないのだなというシビアな現象でした。（一応、私は最終履歴で理系の博士号をとったので、まだめぐまれていると感じた。）研究職（職人肌的）を活かせる企業を訪問対象としてはどうでしょうか？
12	今回の視察で、多くの事を学ぶことができました。その中でも、実際の社員の方のキャリアパスのお話には、午前中の住金鋳山の方には特に自分自身、とても印象に残ることになったと思います。
13	物が商品になる過程を間近で見れたのが良かった。次は、自分の目的企業について見学してみたい。